

ひとよし市議会だより

2012 第72号 平成24年4月15日 発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



東間小學校正門の桜

【主な内容】

- P 2～5 ……各委員会報告
- P 6 ……総合計画策定に関する特別委員会報告
- P 7～10 ……一般質問
- P 11 ……議案等の審査結果、請願・陳情の審査結果
- P 12 ……議会報告会及び意見交換会を開催しました

平成 24 年 3 月定例会は、2 月 28 日に開会し 3 月 26 日に閉会するまでの 28 日間の日程で開催しました。

平成 23 年度補正予算 10 件、平成 24 年度予算 10 件、条例 8 件、案件議案 1 件、人事案件 2 件、陳情 9 件を審査しました。

平成 24 年度 一般会計予算 140 億 9,346 万 6 千円 可決 (前年度より 2 億 2,234 万 1 千円増額)

平成 24 年度特別会計予算も次のとおり可決しています。

人吉球磨地域交通体系整備	171 万 7 千円
人吉市国民健康保険事業	48 億 712 万 6 千円
人吉市後期高齢者医療	4 億 8,308 万 7 千円
人吉市介護保険	40 億 726 万 7 千円
人吉市介護サービス事業	2,898 万 2 千円
人吉市公共下水道事業	12 億 5,867 万 1 千円
人吉市国民宿舎	566 万 3 千円
人吉市工業用地造成事業	288 万 5 千円

平成 23 年度一般会計補正予算は、8,375 万 1 千円 を減額し
総 額 …… 156 億 8,375 万 9 千円

議会運営委員会

●委員長 田中 哲 ●副委員長 西 信八郎
●委 員 宮崎 保・大塚則男・平田清吉・松岡隼人・井上光浩・川野精一

山口県防府市と広島県東広島市で委員研修

2 月 6 日（月）から 2 月 8 日（水）まで議会運営委員会の委員 8 名と執行部 2 名、事務局より 2 名、それに議長合わせまして 13 名で両市の研修を行ってまいりました。

6 日は防府市で、議会運営全般と議会改革の取り組みについて研修を行いました。特徴的な取り組みは、傍聴者への議案の貸出を行っているということと、議会報告会を開催されているということとでありました。

7 日は東広島市で研修を行いました。東広島市の特徴的な取り組みは、行政視察の報告をホームページに掲載されていることと、それに議会の一般質問で個人質問の他に代表質問があるということとでありました。また議会サイドで、子ども議会を開催されているということとでありました。

なお、先進的な事例につきましては、十分検討して今後の議会運営に活かしていきたいと思います。

総務文教委員会報告

●委員長 川野 精一 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮崎 保・平田 清吉・仲村 勝治・永山 芳宏

(条例案件)

人吉市公民館条例の一部を改正する条例の制定については、公民館運営審議会委員の委嘱基準について、条例の一部を改正するものです。

(一般会計補正予算)

今回の補正は、国県の補助金や交付金が確定したもののや、入札や契約などにより残額が出たものを、決算を見据えて減額を行うのが主な内容です。

議会費は、減額により 2 億 3,349 万 2 千円。総務費では、東日本大震災復興支援の児童生徒受け入れ事業に応募が無く、減額しておりますが、企画費の主にくま川鉄道と産交バスへの運行補助金の増による 1 億 3,652 万円などにより総額 17 億 4,149 万円となっています。消防費では、消防団退職者報償金の確定や消防施設費等の減額により 11 億 5,774 万 2 千円です。

教育費は、4,848 万 6 千円を増額し、総額 11 億 6,951 万 8 千円です。増額の主なものは、西小学校の耐震補強工事費で、年度内に完了できませんので、繰越明許費に上がっております。

(一般会計当初予算)

議会費は、2 億 791 万円で、前年度比 2,877 万 6 千円の減額です。

総務費の総務管理費は、10 億 7,234 万 3 千円。選挙費は、907 万 9 千円。統計調査費は、792 万 7 千円。監査委員費は、3,370 万 5 千円です。

消防費は、総額 5 億 881 万 3 千円。消防総務費 4 億 597 万 5 千円は、前年度比 1,021 万 3 千円の増額で、消防組合負担金増による 3 億 9,730 万 8 千円が主なものです。

非常備消防費は、5,562 万 6 千円。消防施設費は、3,556 万 3 千円で、前年度比 939 万円の増は、ポンプ積載車 3 台の購入費用が主なものです。水防費は 469 万 2 千円。災害対策費は 668 万 7 千円で、224 万 1 千円の増額です。

教育費の総額は、10 億 4,882 万 6 千円です。前年度比 4,819 万 4 千円の増額で、パワーアップ教室事業、小学校施設設備改修工事、中学校教科書改訂に要する費用、文化財保護に要する経費が大きなもの。



放課後パワーアップ教室

総務文教委員会行政視察報告

本委員会では、平成 23 年 10 月 25 日～27 日において、「デマンドバス事業」視察を、群馬県前橋市にて。「防災機能を備えた東中学校」視察を、新潟県長岡市にて行っております。

前橋市の「ふるさとバス（デマンドバス）事業」では、事業概要ならびに、導入の課題や問題点、利用状況などを研修し、人吉市での導入に際し、大変参考になりました。交通空白地帯の解消と、経費削減の両立を目指さなくてはならないと感じております。

また、長岡市の「防災機能を備えた東中学校」は、平成 16 年 10 月に発生した中越大震災の教訓から、防災センターとしての学校施設を見直し、なおかつ、学習環境を充実させていました。地域の避難所としての学校の理想形を垣間見た思いです。実に、養護学校を含む市内 90 校中、89 校に防災機

能対策が実施されておりました。

人吉市も、国の施策で学校の耐震化を進めておりますが、先進モデルを参考にし、防災施設としての機能の向上を、出来るところから取り掛かる必要性を強く感じております。



行政視察（長岡市立東中学校）

厚生委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 高瀬 堅一・村口 隆・田中 哲・三倉 美千子

【市指定ごみ袋 ごみ処理手数料へと変更】

人吉市廃棄物の処理及び清掃に関する条例が全部改正となり、一般廃棄物処理が有料化となったため、これまで人吉市衛生員連合会で取り扱われてきたごみ袋については、人吉市へ移行され、ごみ処理手数料として市の歳入となりました。手数料となっても金額はそのまま据え置きとなりますが、7月から資源ごみ袋は、210円から126円と安くなります。

これは、可燃ごみに資源ごみが多く混入しているため、分別を動機付けるものです。

【災害ボランティア養成事業に 920 万円】

災害ボランティア養成のため、福島県南相馬市に派遣する事業に対する市社会福祉協議会への補助金です。今年は、高校生も派遣する予定です。

【市民健診受診者にきじ馬スタンプ付与】

市民健診の受診率向上対策の一環として、市民健診受診者に対して、きじ馬スタンプポイントを付与するための経費 33 万 6 千円を認めました。

【保健補導員を健康推進員と名称変更】

保健補導員は、学校補導をイメージさせるとの指摘から、今後健康づくりを重点的に推進するため「健康推進員」と名称変更しました。また、市長から委嘱を受けた非常勤職員となるため、新たに、年報酬を 12,000 円と決めました。

【介護保険料 月額 5,895 円に改定】

第 5 期介護保険計画における、平成 24 年度から平成 26 年度までの第 1 号被保険者の介護保険料基準額を、前期比 1,041 円、21.4 パーセント増の 5,895 円と改定しました。今回の改定額により、県内でも 1 番目に高い保険料となります。



厚生委員会行政視察報告

1. 日時 平成 23 年 11 月 9 日～11 日

2. 視察先 新潟県上越市・三条市

3. 視察目的

上越市 特定健診受診率向上について

三条市 子ども若者総合サポートシステム、
スマート・ウエルネス・シティ

4. 視察内容

上越市における特定健診受診率向上については、健診から始まる健康づくり上越市の実践報告からとして、健康福祉部長から説明いただき、意見交換を行いました。

三条市の子ども若者総合サポートシステムは、乳幼児から就労・自立まで一貫して必要な支援を総合的に受けられるようにするため、市がその情報を可能な限り集約・一元化するとともに関係組織・機関と連携し

て支援体制づくりを行なうことにより支援するシステムです。教育委員会に子育て支援課を設置し、担当窓口をひとつにして義務教育と子育て支援の連携を図っているのが特徴です。

スマート・ウエルネス・シティは、明るく楽しく元氣よく 市民が健康で幸せになるまちづくりをめざして、ウエルネス（健幸）をまちづくりの中核に、住民が健康で元氣に幸せに暮らせる新しい都市モデル構想です。

5. 視察後の委員会のまとめ

上越市での研修は、保健師の働き方が参考となり、市民に対するフォローアップ体制の語り方等参考になりました。

三条市での研修は、市民に目を向けた組織のあり方、市民を中心とした行政のあり方を考えさせられた研修となりました。

経済建設委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 井上 光浩
●委員 大塚 則男・犬童 利夫・西 信八郎・森口 勝之

住宅リフォーム促進事業がスタート！

補助額は補助対象経費の4分の1に相当する額で
1件当たり20万円が上限、24年は1,000万円
の予算ですので、約50件分を予定しています。



■23年度一般会計補正予算

最終補正のため、事業確定や入札残などで減額になるものもあります。主なものとして

- 労働費（補正後額1億7,837万1千円）
地域雇用創出推進費は1,119万9千円を減額
- 農林水産業費（補正後額4億9,094万3千円）
人吉市農業担い手対策事業補助金に60万円
これは新規就農者祝い金3名分です。
- 商工費（補正後額4億2,444万円）
人吉市中小企業不況対策資金利子補給金149万4千円を増額
- 土木費（補正後額10億4,866万4千円）
橋梁新設改良費は1,909万3千円を増額。これは小股橋上部工架替工事の増などによるものです。

■24年度一般会計（当初予算）

労働費に7,268万9千円、農林水産業費に3億339万2千円、商工費に4億3,079万3千円、土木費に10億5,556万3千円を計上しています。

○労働費

地域雇用創出推進費に5,675万8千円
主なものは、重点分野雇用創造事業で延べ28名の雇用の創出などです。

○農林水産業費

農業振興費に5,994万4千円
主なものは、人吉市農業活性化対策事業補助金の900万円などです。

○商工費

観光費に6,969万9千円
主なものは、日本百名城人吉お城まつり、旬夏秋冬キャンペーン人吉球磨はひなまつり、花火大会などの本市の観光をPRするための広告料1,200万円などです。

○土木費

土木総務費に6,214万円
主なものは、今回新規事業となる人吉市住宅リフォーム促進事業補助金1,000万円などです。

経済建設委員会行政視察報告

①企業誘致活動について 栃木県足利市

栃木県南西部にある市で、人口は約15万人、東京から80kmで北関東自動車道が開通し、市内北部の「足利インター・ビジネスパーク」21.8haは、分譲開始から5年での完売という目標を3年半で達成しました。特筆すべきポイントは4つ。

■企業誘致推進本部を設置

市長以下庁議メンバーを部員とする推進本部を設置、また企業の財務体質をみるために地元金融機関の足利銀行から出向で職員を受け入れた。

■優遇制度の導入

様々な上限なしの豊富なメニュー。当時、北関東で1番の優遇制度を目指した。

■市長が旗振り役

市議会や商工会議所等とも協力し情報収集、広報宣伝、企業訪問等を実施した。

■サポート体制の確立

立地前の相談の段階から創業した後の生活であるとか、経営改善など、ワンストップでサポートする体制をつくった。

②まちなみ景観形成について 長野県松本市

長野県中部に位置する市で、人口は約24万人、

国宝松本城があり、盆地で城下町という点では人吉市に似ています。

■歩いてみたい城下町整備事業

街なかを楽しく興味を持ちながら歩けるような整備により、地区間の回遊性の向上を図るまちづくり事業を5地区で行っています。

■中町まちづくり研究会

昭和63年に「中町（蔵のある）まちづくり基本構想」が策定、翌年に「まちづくり協定」が締結され、町屋づくりの復活をめざし、カラーとイメージの統一化を行っている。ファサード（正面）整備には補助金を交付、改修等にかかる経費の2/3（上限300万円）です。現在、出店希望者が多く、店舗の空き待ちの状態になっています。

■市道の電線の地中化

380mの市道の電線の地中化を5億3千万円の事業費（電力会社とNTTの負担金および国庫補助金）で行っている。商店街の負担はゼロでありました。

※今回の視察内容をもとに、当委員会の委員数人が一般質問にて企業誘致のあり方、まちづくりの方向性について、執行部の姿勢を問うとともに提案をしました。

総合計画策定に関する 特別委員会

●委員長 井上 光浩 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 全議員

本市が今後進もうとする 8 年間の指針 『第 5 次総合計画基本構想（案）』を 3 月議会で可決！

総合計画策定に関する特別委員会に付託されました、議第 30 号「第 5 次人吉市総合計画基本構想について」の審査の経過とその内容及び結果につきましてご報告いたします。

平成 23 年 8 月 1 日に施行されました地方自治法の一部を改正する法律により、市町村の総合計画基本構想の策定義務が撤廃され、策定の有無は市町村の任意とすることとされました。

本市では、地方分権改革のもと自治体間競争が激化する中で、社会潮流を見据えた新しい時代の

未来設計図（ビジョン）が必要であること。そのためには本市を取り巻く課題を踏まえ、市政運営を計画的かつ効果的に実施するための指針を示すことが重要であることから、第 5 次総合計画が策定されることとなりました。

基本構想の策定に当たっては、民意を反映させるために「市民意識調査」や市長が地域に出向く「市長と語るひとよし“かがやき”づくりトーク」を実施し、「十年後の人吉を語る平成 100 人委員会」の提言を受け、その後の市長の諮問機関「人吉市総合計画策定審議会」において延べ 11 回にわたり慎重な審議がなされ、最終的な基本構想（案）が策定されています。

大きな特徴として、これまでは 10 年間だった計画期間を市長の任期に合わせた 8 年間とし、市長マニフェストと総合計画を融合させ、重要課題をどのようにして解決するかをまとめた「実務型の計画」となっています。また、まちづくりの理念を「市民みんなが健康で笑顔で暮らせるまち」とし、目指すべき将来都

市像を「自然と相良文化が輝く美しき千年都市ひとよし」とされています。

この将来都市像の実現のために、まちづくりの 6 つの政策（戦略）が掲げられ、それぞれ様々な施策が計画されていますが、策定に至るまでの経緯を尊重し、議会の立場として審査を行いました。例えば【産業・経済】分野では、①商工業の振興策は、既存企業の支援に加え、新規創業に対する支援の充実 ②

観光情報発信に当たっては、おもてなしの心を大切にし、全国誰で

も「人吉市」という名前がわかるよう、更なる知名度アップに努めてほし

いといったことなどを要望いたしました。

そのほかの【教育・文化】【自然環境・安全】【健康・福祉】【都市基盤・建設】【地域・自治】の各分野についても、活発な議論を展開しながら審査・要望などを行いました。

本特別委員会は、総合計画基本構想を周知するための「ダイジェスト版」発行に際しては、本市が今後 8 年間進もうとする方向性を市民の皆様が理解し共有できるように、写真・イラストなどを入れたわかりやすい広報に努めることなどを要望し、慎重審査の結果、全会一致で認めることにいたしました。



市民の皆さんに配布される「ダイジェスト版」は、わかりやすいものを作成するように要望しました。

一般質問に 15名登壇



遊水地問題、 食用廃油問題



田中 哲

問 「ダムによらない治水を検討する場」で示された、遊水地の検討箇所18カ所のうち、人吉の検討箇所は中神地区の球磨川右岸か。住民、地権者への説明は。前向きに検討とは。

答 中神地区を想定したものと思うが、検討箇所として図上に落とされたもので説明責任を果たす前段にあるものと考え。堤案されれば、真摯に向きあっていかなければならない。様々な案が国の方針として決定されて整えば、国と県とともに説明会を開催すべきと考えている。中神地区を含め遊水地案が提案されれば協力していく。

※食用廃油のリサイクルについては、市民の協力が必要。ニーズや声を聞いて検討していきたい。

学生の自転車事故対策と 口腔衛生向上



川野 精一

問 県立高校で自転車通学時に義務化されている、付帯保険付きTSマーク（自転車整備士が点検し貼付する）の普及は。

答 小中学校で児童生徒が加入する災害共済は、対人補償は対象外で、児童生徒が加害者となる可能性は否めない。任意保険の周知は行っているが、PTA会長とも協議し、万全を図りたい。

問 近代歯科医学の先駆者で郷土出身の一井正典氏の顕彰に際し、子ども達の口腔衛生向上の機運醸成を。

答 虫歯予防に努めたい。顕彰と予防の一体的な取り組みは面白いアイデア。一井先生の生誕150年を機に、独自の予防活動のスタートが切れればと思う。

農業と観光で稼ぐ 経済都市ひとよし



平田 清吉

問 今後の観光で食べられるまちづくりについての考えは。

答 二日町から紺屋町までの人吉七町を対象として、昭和初期の温泉郷、町並みの復活を進め、常に観光客の身になり、真におもてなしの気持ちをもって接遇し、観光客誘致に努めたい。

問 今後の農業で食べられるまちづくりについての考えは。

答 地産他商推進室が大都市圏における商談会や各地のイベント等へ積極的に参加し、人吉市にしかない特徴ある農産物の開発と販路の確保を進め、農家への情報提供に努めたい。

※その他、第5次人吉市総合計画の基本構想におけるまちづくりの政策の第1戦略、農業、商工業の振興について質問しました。

消防の広域化と ドクターヘリについて



犬童 利夫

問 城南ブロック消防広域化について、市長の考えは。

答 人命を一分一秒でも早く救助する体制をとることが、広域化の意義である。協議会の中で協議を進めているが、地域住民の生命、財産を守る義務を負う市町村にとって消防力の強化は最大の義務である。

問 ドクターヘリの離着陸場所の安全管理と対空表示の整備についての考えは。

答 ヘリの離着陸場所の安全管理は、消防本部の任務として遂行されるが、遠隔地にあつては、地元町内会や消防団ともよく相談したい。また、23 年度の対空表示場所は、市役所本館と別館に整備し、その後は防災拠点施設など段階的に増設したい。

発達障がい支援センター 設置について



豊永 貞夫

問 発達障がいと診られる子どもたちの早期発見、早期療育のために、乳幼児健診や相談事業に積極的に取り組まれていることで対象者が年々増加している。これに対応するためには、乳幼児期から成人期、就労までの一貫した支援体制が必要だと考えるが、発達障がい支援センターの設置についての考えは。

答 将来的には支援センターのような施設も必要だと認識しているが、現状としては困難であると考えている。県の支援センターと連携し、増加している原因究明と、対策を検討することが先決だと考える。球磨圏域の地域療育センターの充実をさせることで、保護者の皆さんの要望に添えていきたいと考える。

仮称「農業振興基本計画」 の策定は



笹山 欣悟

問 12 月議会で提案した「えん農」に関連して、短期的、中期的、長期的に区分し政策展開を図り、あらゆる農業に対して取り組むことができる市の指針となる仮称「農業振興基本計画」を策定する考えはないか。

答 全体的な農業施策の展開、振興計画の策定は重要であると認識している。今後、人吉市あるいは県南地域の農業のあり方を模索しているところであり、人吉球磨だけではなく県南地域と連携していかなければ、農業振興基本計画は樹立することはできないと考えるところである。短期、中期、長期的な部分については、農業を取り巻く状況の変化を踏まえ、今後の総合計画の中で策定してまいりたい。

国民保険税・介護納付金・ 子育て支援



三倉美千子

問 国民健康保険税が上る要因は。

答 被保険者の医療費の上昇、75 歳以上の高齢者の医療費の上昇、高齢者の介護給付費の上昇などである。

問 今年度の国保税の見直し及び介護保険との関連は。

答 国民健康保険で支出する介護納付金の増加に伴い、40 歳以上 65 歳未満の第 2 号被保険者介護保険料に相当する国民健康保険税を改定。国保で負担する介護納付金も今後増加すると思われる。

問 特定健診の 24 年度の受診率向上への取り組みは。

答 目標達成にはかなり努力が必要。車健診の場合、コミセンや町内会館に集まってもらいマイクロバス等で送迎したい。

※その他、子育て支援について質問しました。

総合計画と財源について



松岡 隼人

問 今回、総合計画を提案されたが、市民が内容についてもっと議論できるように、実施計画と財政計画を公表すべきでは。

答 調査研究を行い、よりよい方策を模索する。

問 教育に関して、豊後高田市のような、子どもを中心とした知・徳・体を育むための総合的なプロジェクトをつくるべきでは。

答 他市町村の取り組みを参考に本市教育をさらによいものにしていきたい。

問 武雄市が取り組む F&B 良品への出品、または事業を本市でも取り組むべきでは。

答 担当職員が武雄市を視察している。今後、協議・検討をしていく。

梅の新品種と栽培



仲村 勝治

問 梅とニホンスモモとの交雑によって作られた露茜つゆあかねは、梅焼酎に適しているので、新製品を開発し販売できないか。

答 果実の重さが約 70 グラムと大きく、果肉が鮮紅色で梅酒や梅ジュースにした場合、紅色の美しい製品ができる。導入にあたっては、市場性等を調査し、関係機関と協議し、酒造メーカーの意見も参考に対応したい。

問 梅のジョイント仕立てによる低樹高栽培技術は、収穫や剪定に脚立がいらず高齢者でも安全な作業ができる。神奈川県が特許をもっているが、この栽培技術の許諾料はいくらか。

答 対象樹種は梨、梅で許諾料が原則 43 万 7 5 0 0 円、農家は減免の 26 万 2 5 0 0 円。

観光振興問題について



高瀬 堅一

問 市長が先頭となつての「観光、農業で食べられるまちづくり」には共鳴するが、様々な推進団体との協調にかけるのではないか。その調整役も行政が推進役にならざるを得ないのではないか。

答 市民の方々はもとより、観光に携わる様々な団体との協力や協調は不可欠であり、官民一体となつて「おもてなしの心」で迎え入れるスキルアップを図っていく必要がある。今後も「おもてなしの心」による観光と交流のまちづくりを目指し、多くの市民の皆様と官民一体となった事業を展開してまいりたい。

※その他、ごみ袋の取り扱い、不適正経理、今後の春風マラソンについて質問しました。

災害救援ボランティア活動派遣について



大塚 則男

問 昨年 12 月議会において末永く支援を続けていかなければならないと答弁されているが、末永くとはどの位のことなのか。

答 復興がなされるまでということ、仮設住宅が設置されている間は継続してまいりたい。

問 23 年度に 9 0 0 万円、24 年度に 9 2 0 万円の予算計上になっているが、2 カ年続けて行うことに市民の皆さんの理解が得られるのか。

答 市民の皆様には十分ご理解いただいているものと存じている。

問 市民の中には、1 回の派遣は理解するが、2 回目は疑問だとの声があるが、市民の皆さんが納得できる内容に見直しを検討する考えはないか。

答 昨年と同様に実施したい。

キクラゲ栽培の問題 について



西 信八郎

問 人吉きのこ生産組合の一部組合員から不満の声を聞く。市は当初どう説明したのか。生産基盤安定のためにも不満の声に対応すべきでは。

答 説明会では、軽作業で短時間の労働で高収入が見込まれると説明したが、湿度維持の灌水、収穫時の石づき取りの労力が想定外だった。初年度は、施設建設に時間を要したため予定収益が確保できなかった。納入先は規格品のみを受け入れを予定していたため規格品と規格外の価格差が大きく不満が上がっており、本年度は、規格外品の価格を上げてもらう交渉をする。

※その他、教育関係としてセーフスクール、市職員再任用についても質問しました。

町内会長嘱託員と 各役員の現状について



村口 隆

問 町内会長嘱託員・民生児童委員・保健補導員の不在の町内は。

答 保健補導員については、16町内で不在である。

問 不在町内に対する今後の対応策は。

答 保健補導員については定数の見直しを行い、今までより少ない人数にする予定である。

問 町内会長嘱託員の仕事内容について見直しはあるのか。

答 嘱託員の事務は現状のままでお願いしたい。町内会長に依頼する事務は、整理する必要があると考えている。

問 なり手不足について認識は。

答 町内会長嘱託員を初め、各委員等のなり手不足は認識している。できる限り連携を図りながら町内会、市政発展のため努力していく。

快適で安全な 居住環境維持施策は



井上 光浩

問 市営団地の入居者状況は高齢者のいる世帯が増加傾向にあり今後は耐用年数を経過した市営団地においてシルバーハウジング事業を活用し建て替えを考えるべきでは。

答 福祉施策と住宅施策の密接な連携を図り、高齢者の生活特性に配慮した住宅及び附帯施設を整備していきたい。

問 JR九州豪華列車運行を計画されているが、肥薩線（大畑駅・矢岳駅）に誘致できないか。

答 「大畑駅を愛する会」により物産販売されるなど、様々なおもてなしへの取り組みがされており、矢岳駅から真幸駅間は日本三大車窓の一つで今後自然を満喫していただく提案なども含めてJRに要望していきたい。

財政状況と庁舎建設問題



森口 勝之

問 財務諸表によると、連結ベースで市民1人当たりの資産は267万円、負債83万円、総資産高659億円となっており、基礎的財政収支は5億円以上の黒字で推移している。今年度から庁舎建設に関する起債の取扱要領も改正されており、老朽化した庁舎の建て替えに対する起債実行の可能性について、真剣に議論を始めるべきではないか。

答 東日本大震災により庁舎の崩壊は市民の安全、安心の崩壊につながるものと思われるので、庁舎建設は市の最重要課題である。



本庁舎内に入った亀裂

平成 24 年 3 月定例会議案等の審査結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 2 号	平成 23 年度人吉市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
議 第 3 号	平成 23 年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議 第 4 号	平成 23 年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 5 号	平成 23 年度人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 6 号	平成 23 年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 7 号	平成 23 年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 8 号	平成 23 年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 9 号	平成 23 年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 10 号	平成 23 年度人吉市国民宿舎特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議 第 11 号	平成 23 年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 12 号	平成 24 年度人吉市一般会計予算	原案可決
議 第 13 号	平成 24 年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決
議 第 14 号	平成 24 年度人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議 第 15 号	平成 24 年度人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議 第 16 号	平成 24 年度人吉市介護保険特別会計予算	原案可決
議 第 17 号	平成 24 年度人吉市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議 第 18 号	平成 24 年度人吉市水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 19 号	平成 24 年度人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 20 号	平成 24 年度人吉市国民宿舎特別会計予算	原案可決
議 第 21 号	平成 24 年度人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決
議 第 22 号	人吉市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 23 号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 24 号	人吉市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 25 号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 26 号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 27 号	人吉市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の制定について	原案可決
議 第 28 号	人吉市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 29 号	人吉市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 30 号	第 5 次人吉市総合計画基本構想の策定について	原案可決
議 第 31 号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議 第 32 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意

請願・陳情の審査結果について

番 号	件 名	議決結果
陳 第 2 号	歴史ある曼茶羅川の再生を願う陳情	継続審査
陳 第 6 号	認可外保育施設に通う子ども達への助成を求める陳情	継続審査
陳 第 7 号	最低保障年金制度の創設を求める陳情	不採択
陳 第 8 号	国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める陳情	不採択
陳 第 9 号	改正介護保険制度の充実に関することを求める意見書の提出に関する陳情	不採択
陳 第 10 号	国民健康保険財政への国庫負担割合を増やすことを求める意見書の提出に関する陳情	不採択
陳 第 11 号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	継続審査
陳 第 13 号	道州制・地域主権改革問題についての陳情	継続審査
陳 第 14 号	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	不採択

今期初めての議会報告会及び意見交換会を開催しました !!



人吉市総合福祉センターでの報告会

開 催 日：平成 24 年 1 月 26 日

開催場所：人吉市総合福祉センター

報告会は議員 18 人全員による開催となり、多数とは言えませんが、市議会に関心をお持ちの市民の方々にご参加いただきました。

1 時間半あまりの中で、3 常任委員会の委員長からの活動報告、続いて市民の方と市行政や議会のあり方などについてさまざまな意見が交わされました。

今回の反省点などをふまえて、今後も開催していく予定ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

Q：防災訓練について、もっと議員にも勉強していただき効果的に訓練してほしい。

A：議員も訓練に参加できるよう対応したい。

Q：防災上、食料等の備蓄はどうなっているのか。

A：山間部においては毛布（及びマット）を備蓄する予定であるが、食料の備蓄は整っていない。今後の課題である。

Q：市の不祥事など議員がチェック機能を発揮してほしい。

A：直接チェックしづらい面もあるが、市にチェック体制の強化を求めている。

Q：議会刷新の中身はどういうものか。

A：議会のあり方などさまざまな課題に対し、議会制度研究会を立ち上げて全議員で取り組む体制を整えている。

会場でいただいた、主なご意見

Q：人吉市の町並みづくりをどう考えているのか。

A：行政側からの提案、トップダウンでしてもらいたい。

Q：TPP については賛成、反対双方の意見を聞いて議論してほしい。

A：意見書の内容は、現時点での参加は時期尚早というものである。

Q：町内会長をしているが、市からの情報が不足して思った成果が上がらない場合がある。

編集後記

いろいろの花が咲きはじめ、季節の変わり目を告げてくれます。木々から新しい芽がふき始め、春の風が心地よい季節となりました。

「春」という字は、草木の芽が「張る」。草木の芽がふき始めるという意味を持っているのだそうですが、生命力にあふれた新しい芽は躍動的でもあります。

また、春といえば、卒業式や卒園式が行われ、子どもたちの成長とともに旅立ちでもあります。また、入学、入園式も行われます。子どもたちの新しい出発の季節でもあり、まさに希望への動き始めでもあると思います。地域の宝です、温かく見守りたいものです。

議会だよりにつきまして、読みやすく、そして、市民の皆様に関心を感じていただけるように、字数やレイアウトを変更しました。市民の皆様のご意見等がありましたら、議会事務局までご連絡ください。

（文責：犬童 利夫）

【議会編集委員会】

委員長／永山芳宏
副委員長／森口勝之
委員／宮崎 保
大塚則男
豊永貞夫
高瀬堅一
犬童利夫
笹山欣悟

次の定例会は六月です。